

ダムの事前放流③

ダムの事前放流レポート

長崎県においても、令和3年2月までに県内47ダムにおいて市町や利水者と事前放流に関する協定（治水協定）を締結し、事前放流の運用を開始しています。

事前放流運用を開始したのち、これまで令和4年6月時点で9回、実際に事前放流を実施しています。

以下に、対馬市の小浦ダムで令和2年に実際に行った事前放流状況をレポートします。

【小浦ダム事前放流レポート】

- ① 9/1 3:00：台風9号、10号接近に伴い、予測降雨量が基準降雨量を超える。
- ② 9/1 8:50：市、警察、消防等の関係機関に事前通知
- ③ 9/1 11:00：市防災行政無線にてダム下流周辺住民に事前放流の予告放送実施
- ④ 9/1 11:40：事前放流前に下流河川をパトロール
- ⑤ 9/1 12:00：緊急放流管の操作を行い事前放流開始



ダム下流放流状況
事前放流開始前



ダム下流放流状況
事前放流後



事前放流状況近景



事前放流開始後下流河川状況

下流河川の急激な増水は発生していません。

【事前放流の効果】

事前放流による確保容量：約38,000m³
台風10号による降雨：181mm

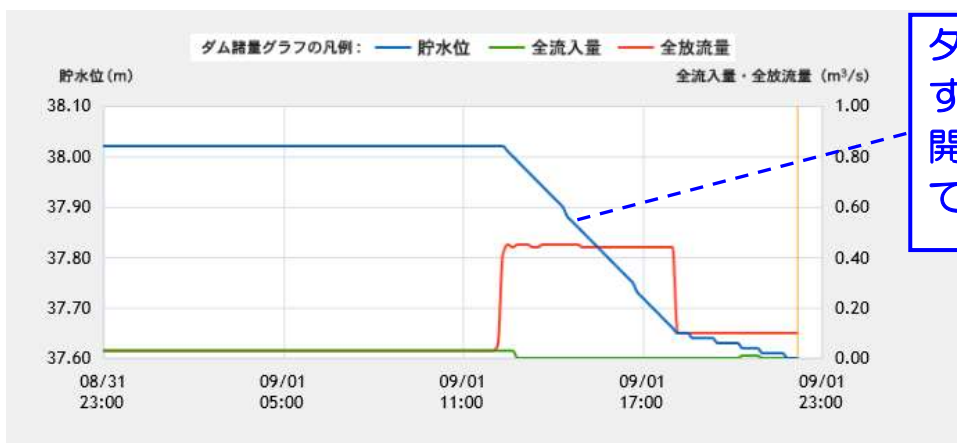
（小浦ダム地点：9/6 16:00～9/7 14:00）

台風10号の降雨による総流入量（ダムに流れ込んできた水の量）：約77,000m³

（9/6 16:00～9/7 14:00）



総流入量の約半分を事前放流により確保



ダムの貯水位を示す青線が事前放流開始を境に低下している。

事前放流前後のダム状況のグラフ

- ⑥ 9/1 12:40：事前放流後の下流河川状況をパトロール
- ⑦ 9/7 8:00：予測降雨量が下がり、今後の大雨のおそれもなくなったことから、事前放流を終了。

